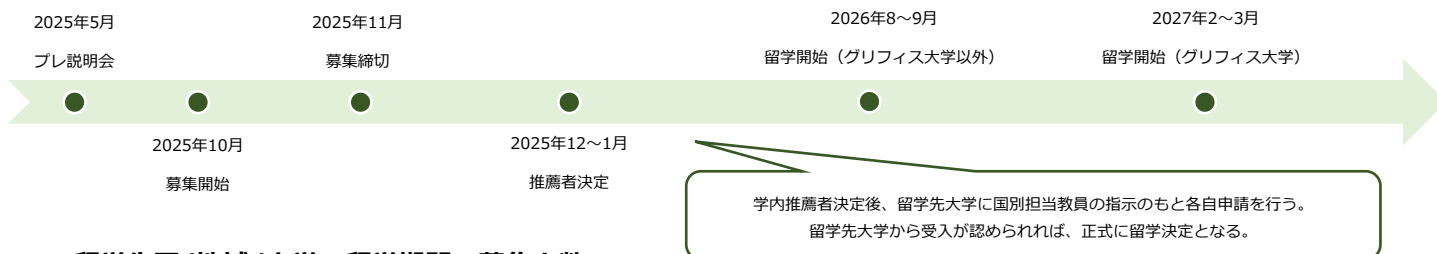


2025 年度募集（2026 年度派遣） 交換留学プログラム 募集要項

1. 交換留学プログラム

交換留学とは、本学と海外の協定締結校との学生交流協定に基づき、学生が相互に留学する制度である。留学期間は半年または1年で、本学サポートのもと、国際社会を生き抜くために必要な力を身に付ける貴重な機会である。本募集要項では2026 年度に留学を開始する交換留学プログラムに係る応募・選考方法等について記載する。

（留学開始時期：2026 年 8～9 月（オーストラリア・グリフィス大学のみ 2027 年 2～3 月））



2. 留学先国/地域/大学、留学期間、募集人数

- (1) 本学協定校 12 カ国 31 校に応募することができる。（別紙 1 参照）
- (2) 留学期間は 1 年間＝2 学期を推奨するが、1 学期の留学も可能である。

＊別表の「必要な語学力等」について

CEFR とは、「Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment（外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠）」の略称であり、外国語の運用能力を同一の基準で測ることができる国際基準である。英語の語学力について確認したい者は、A-206 の掲示板に「各資格・検定試験と CEFR との対照表」を掲示しているので、目安として参照すること。具体的な内容は、「12.問い合わせ先」の各国別担当教員に確認すること。

3. 学内選考の流れ

(1) 応募

- 「4.応募要件」「5.提出書類」「6.締切」「7.提出先」をよく確認のうえ、必要書類を提出する。
- 留学希望先は、第 1 希望と同じ言語を使用している留学先に限り第 2 希望まで申請することができる。

(2) 一次選抜

〔書類選考〕申請内容に基づき総合的に判断する。

〔面接選考〕留学目的等について面接を行う。

面接対象者：書類選考を通過した者

実施形式：対面

面接日：【11 月 26 日（水）午後】（予定を空けておくこと/時間は対象者に面接日の 2～5 日前に通知）

※所属コースにおいて教育実習の事後指導が予定されている場合、面接時間については調整を行う

(3) 二次選抜

- 一次選抜において、留学希望先がいずれも推薦不可になった場合、二次選抜を希望することができる。
- 一次選抜後、募集対象大学の派遣可能枠に残数がある場合に実施する。（ただし、希望者全員が二次選抜に挑戦できるとは限らない。要件を満たす者へ別途通知する。）

(4) 推薦者決定

- 一次選抜の選考結果は 12 月下旬、二次選抜の選考結果は 1 月下旬に通知予定。
- 本学から推薦が決定した者は、国別担当教員の指示のもと留学先大学に各自申請する。留学先大学の受入許可を受けて、留学が確定する。



4. 応募要件

以下の要件を満たしていることが必要である。

- (1) 本学に1学期以上在学する学部生・大学院生であること
- (2) 留学先大学への申請手続きまでに、所定の要件を満たした語学能力試験受験結果の写しを提出できること
* 応募時に語学能力試験を未受験でも応募できるが、学内選考ではスコア要件を満たしている者を優先する。
- (3) 留学先大学が成績等一定の要件を求める場合は、当該要件を満たすこと
- (4) 留学前に本学が指定する危機管理サポート及び海外旅行保険へ加入すること
- (5) 留学終了後、本学に戻り卒業・修了すること

5. 提出書類

- (1) 交換留学プログラム申請書
- (2) 成績証明書
- (3) 語学能力試験受験結果写し
- (4) 指導教員推薦書（指導教員に作成を依頼し、必ず当該教員から国際交流係にメールで送付してもらうこと）
上記、(1)～(3)を揃え、「7. 提出先」に記載の担当まで提出すること。

なお、(1)交換留学プログラム申請書と(4)指導教員推薦書はグローバルセンターWeb ページ又はLive Campus Uの案内からダウンロードすること。書類に不備・不足のある申請書については受理しないので、よく確認すること。

* グローバルセンターWeb ページ：<https://ger.osaka-kyoiku.ac.jp/study-abroad/exchange-program/>

6. 締切

2025 年 11 月 4 日（火）

7. 提出先

担当：学術部国際課国際交流係（intl-exchange@bur.osaka-kyoiku.ac.jp）

件名：【学籍番号・氏名】2025 年度募集交換留学プログラム申請書等提出

- メールで申請書類を PDF 形式で提出すること。
- 選考結果が発表されるまで各自提出書類を保管すること。（修正のうえ再提出を求める場合あり）
- 受理した申請については受領メールを3日以内に送付予定。（返信がない場合は国際交流係に問い合わせること）

8. 学籍の取扱、単位互換

- (1) 本制度による留学は、本学学則に定める「留学」として取り扱う。
- (2) 留学前後に休学する場合、「休学」は学期単位での取り扱いになるので留意すること。
- (3) 留学先の大学で取得した単位は、学内審査を経て認定されることがある。

9. 留学費用（授業料・その他経費）

- (1) 学生交流協定により、留学先大学の授業料が免除される。ただし、本学の授業料は納める必要がある。
- (2) 授業料以外の各種経費については、自己負担である。
（準備経費（VISA 取得含）、危機管理サポート及び海外旅行保険料、渡航費、現地での滞在費・食費・宿舍費・医療費等）

10. 奨学金

交換留学生を対象とした給付型奨学金（返済不要）に応募することができる。大学で推薦者を決定して応募する「大学推薦型」と、条件に一致する学生誰もが応募できる「公募型」の2つのタイプの奨学金がある。大学から案内する奨学金を希望する場合

は、交換留学プログラム申請書の「Ⅶ. 奨学金受給について」で希望する奨学金に囚すること。交換留学の推薦者決定後、要件等も含めて詳細を連絡するので、案内に従い、期日までに必要書類を提出すること。

※過去数年の実績に基づく情報は以下のとおり。(各奨学金の募集情報については予告なく変更の可能性がある)

※「大学推薦型」の場合、原則として交換留学推薦選考の選考順位を基に推薦者を決定する。

(奨学金一覧)

No	奨学金名	タイプ	推薦人数	支給額	条件等（一部抜粋）	採用者数/応募者数
1	JEES・馬場財団国際理解 教育人材養成奨学金	大学推薦	1名	月額： 10万円 留学準備金： 15～25万円	・ 初等中等教育教員を志す者 ・ 教職課程を履修中又はすでに 免許取得済みの者 ・ 帰国後、成績証明書、体験談及び 進路報告を財団に提出すること ・ 受給証書授与式、報告会へ要請 があれば出席が必要	2022年度：1名/1名 2023年度：0名/1名 2024年度：1名/1名 2025年度：1名/1名
2	公益財団法人大遊協 国際交流・援助・研究協会 奨学金	大学推薦	2名	月額： 10万円	・ 学部生（院生不可） ・ GPA2.3以上（3点満点） ・ 大阪府内在住の者 ・ 8か月以上1年未満の交換留学 ・ 「第二種奨学金在学採用の 家計基準」を超えない者	2022年度：0名/2名 2023年度：2名/2名 2024年度：0名/2名 2025年度：1名/2名
3	公益財団法人業務スーパー ジャパンドリーム財団 派遣留学奨学金	公募	上限なし	月額： 15～20万円 留学一時金： 15万～25万円	・ 学部2回生以上 （留学年次4月時点） ・ 院生不可 ・ 35歳以下 （留学年次5月1日時点） ・ 日本国籍を有する者 ・ GPA2.5以上（3点満点） ・ その他語学力基準あり	2022年度：2名/3名 2023年度：5名/7名 2024年度：1名/2名 2025年度：2名/6名
4	トビタテ！留学 JAPAN	公募	上限なし	月額： 6～16万円 留学準備金： 15～25万円	・ 30歳以下 （募集翌年度4月1日時点）	2022年度：0名/0名 2023年度：0名/3名 2024年度：1名/4名 2025年度：0名/2名
5	JASSO 海外留学支援制度 （協定派遣）	公募	2026年度： 未定	月額： 8～11万円 渡航支援金： 1～16万円	・ GPA2.3以上（3点満点）	2022年度：6名/6名 2023年度：4名/4名 2024年度：3名/3名 2025年度：6名/8名

【各奨学金に係る留意事項】

1. No.1「JEES・馬場財団国際理解教育人材養成奨学金」及び、No.2.「公益財団法人大遊協国際交流・援助・研究協会奨学金」は大学推薦型であることから、採用された場合必ず受給する必要がある。そのため、大学推薦型奨学金（No.1・No.2）への大学推薦が決定した場合は当該奨学金への応募が優先され、応募時期の関係から No.3・No.4 の奨学金に応募することができない。そのことを理解したうえで、交換留学プログラム申請書の「Ⅶ. 奨学金受給について」でこれらの奨学金に囚を入れること。（大学推薦型奨学金への大学推薦が決定した者には、12月下旬に通知を予定している）

2. No.1「JEES・馬場財団国際理解教育人材養成奨学金」は、標準修業年限超過後に留学を開始する場合は応募条件に基づき推薦ができない。また、留学期間中に標準修業年限を超える場合、標準修業年限超過後の期間は奨学金の支給対象外となる。
3. No.2「公益財団法人大遊協国際交流・援助・研究協会奨学金」に記載されている「第二種奨学金在学採用の家計基準」について、以下 Web ページで収入・所得が金額以内か確認することができる。
Web ページ : https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_2shu/kakei/zaigaku/daigaku.html
4. No.3 「公益財団法人業務スーパージャパンドリーム財団派遣留学奨学金」について、応募時期の関係から、本学の二次選抜で交換留学の推薦が決定した場合、当該奨学金に応募することができない。
5. No.5 「JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）」奨学金は、大学が日本学生支援機構へ申請し採択されるプログラムであり、2026 年度に採択された場合、本奨学金を希望する学生には、指定の要件に基づき学内審査を行う。（2026 年度以降のプログラムは日本学生支援機構へ申請中であり、実施は未定となっている）

※前頁奨学金一覧以外の奨学金へ応募を希望する場合、別途国際交流係へ連絡すること。

11.その他

感染症拡大等の世界情勢により、留学プログラムが中止になる可能性に留意すること。

12.問い合わせ先

○交換留学全般：グローバルセンター国際教育部門 王 林鋒 (wan-r50@cc.osaka-kyoiku.ac.jp)

○留学先国／地域／大学に関すること：各国別担当教員（以下の表参照）

国	担当者	連絡先
台湾	出野 文莉 王 林鋒 中野 知洋	zhangli@cc.osaka-kyoiku.ac.jp wan-r50@cc.osaka-kyoiku.ac.jp nakanot@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
中国（下記以外）	王 林鋒	wan-r50@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
中国（山東芸術学院・天津大学・香港教育大学）	出野 文莉	zhangli@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
韓国	小林 和美	kazumik@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
アメリカ	プール ジャスティン パーカー	pool@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
ドイツ	赤木 登代	akaki@ex.osaka-kyoiku.ac.jp
フランス	井上 直子	inouenao@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
スイス・スウェーデン・フィンランド	中山 あおい	aoi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
クロアチア	井上 岳彦	inoue-t13@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
オーストラリア・ベトナム	橋本 健一	kenhashi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

○交換留学制度に関すること：学術部国際課国際交流係 (intl-exchange@bur.osaka-kyoiku.ac.jp)

TEL：072-978-3299

窓口：授業期間中、柏原は平日 10:00～16:30、天王寺は金曜日 12:00～20:00 に開室

柏原キャンパス 外国語学習支援ルーム (GLC)：共通講義棟 A-206

天王寺キャンパス 外国語学習支援ルーム分室：中央館 201